

代表質問 自民党こまつ 川崎 順次(かわさきじゅんじ) 議員

一括質問

## リーダーとは進むべき方向と進んだ先の希望を見せて導く人のことである

### ◆来年度予算編成について

**Q** 学校給食無償化は来年度、どこまでの範囲で実施するのか。

**A** 無償化の実施、拡充にあたり事業の見直しを進めている。今後、全体最適の観点から総合的に判断したい。

**Q** 未来型図書館は宮橋市長の公約の目玉、来年度当初予算にはどの程度見込み、対応をしていくのか。

**A** 今年度の調査結果を踏まえ、図書館の基本方針等を示す基本構想の策定を予定している。策定に合わせて、市民と共に作る未来型図書館の機運を高めていきたい。

**Q** 子供たちが夢を持てる小松、住んでよかったと思える小松に向けては。

**A** 就任以来まちの好循環を目指して取り組んできた。行政のみならず、民間による投資も呼び込める魅力あるまちづくりに取り組んでいきたい。

**Q** コロナ対策費については、アフターコロナも大事ではないか、対策は。ワクチンを今の年齢から引き下げていくのか。

**A** 接種年齢の引き下げについては慎重に対応する必要がある。国の情報を的確に把握するとともに、出来るだけ早く支援が届くよう進めていきたい。

### ◆旧西尾小学校跡地活用事業について

**Q** 検証委員会の検証結果は。

**A** 公共施設としての位置付け、整備活用方針の策定と事業者選定過程においては不適正、事業の継続可能性については、しばらく採算をとる事は困難との結果であった。

**Q** 検証によって前市長・前副市長の事業の進め方にさらに疑惑が深まった。結果を受け市長の率直な感想は。

**A** 非常に重く受け止めており、今後は事務の適正化など改善すべき点は速やかに言い、説明できる部分はしっかりと説明していきたい。

**Q** 当初は教育施設、それがなぜ宿泊付レストランになってしまったのか。検証結果が全てではないか。

**A** 改めて公の施設としてふさわしい管理運営が行われることをしっかりと確認するとともに、中長期的な施設運営の点から損益計画等についても確認していきたい。

### ◆コンベンション、文化、スポーツ大会の誘致について

**Q** 大型大会誘致には大きな施設が必要不可欠。駅周辺に未来の小松のために核となる多機能アリーナの構想を持ってはどうか。

**A** 地域活性化の起爆剤であるアリーナの整備構想を近い将来実現させたい。

**Q** ボッチャなど体に障害がある人たちもスポーツに親しんで楽しめる施設はどうか。



**A** スポーツ競技者や関係団体等と知恵を出し合い、スポーツ施設のみならず多機能複合型の施設整備を検討していきたい。

### ◆うごめこころ

**Q** 重大な事態を招く前の対策は。

**A** 未然防止・早期発見・丁寧な対応の視点で取組みを行っており、今後も児童生徒が自己有用感や安心感を持ち、伸び伸びと学ぶことが出来る学校づくりに取り組んでいく。

### ◆動物愛護対策

**Q** 石川県動物愛護の条例内容は。

**A** 動物愛護精神の高揚を図り、人と動物の共生社会の実現を目指すこととしており、来年4月に施行となる。

**Q** 飼い主のマナー義務に対して地域活動の大切な要はT(保護)N(避妊・去勢手術)R(戻す)。犬や猫等の飼い主に周知すべきこと、市民に理解してほしいことなどをHP等で紹介し、周知を図りたい。

**Q** 小松市独自の条例制定を。

**A** まずは県の条例を広く周知し、動物との共生社会の実現に向けて市の責務を果たすよう努めていきたい。

16人が  
質問しました。

# 12月定例会

12月定例会

■ 一括質問  
■ 一問一答

1	代表質問 会派自民 灰田 昌典 議員	●宮橋市長にとって初めての本格的予算編成、その基本的な考えは	4ページ	2	代表質問 自民党こまつ 川崎 順次 議員	●リーダーとは進むべき方向と進んだ先の希望を見せて導く人のことである	5ページ
3	竹田 良平 議員	●不登校の児童生徒へのサポートについて ●医療的ケア児やそのご家族への支援 ●スマートロックの導入	7ページ	4	岡山 晃宏 議員	●日本遺産サミット・GEMBAモノヅクリエキスポを終えて ●WITHコロナでの安心安全な活動に向けて ●近年の物価高騰の対策について	7ページ
5	東 浩一 議員	●松東地区 地域活性化・農林業の継続と持続的取組	8ページ	6	吉田 寛治 議員	●小松市のまちづくりの核となる未来型図書館の建設について ●給食費の無償化について ●旧西尾小学校の活用事業について ●環境整備について ●金野小学校の跡地利用について	8ページ
7	梅田 利和 議員	●身近な行政手続きの窓口について ●「Nudge(ナッジ)」を活用したシティプロモーションについて	9ページ	8	二木 攻 議員	●木場湯前川における遊覧船の運航について	9ページ
9	宮川 吉男 議員	●北部地区の活性化について ●芦城公園整備について	10ページ	10	橋本 米子 議員	●来年度の予算編成に関し、原油価格の高騰への対策について ●小松市国民健康保険税について ●小松市保育所統廃合、民営化の総括について ●小松基地でのF-35A訓練について	10ページ
11	木下 裕介 議員	●行政サービスの一元化を ●新型コロナワクチン3回目接種 ●HPVワクチン接種について ●市職員の働き方について ●防災について	11ページ	12	新田 寛之 議員	●小松市奨学金貸与条例について ●3回目のワクチン接種に向けて	11ページ
13	吉村 範明 議員	●伝統工芸九谷焼の更なる発展に向けて ●本市の食料自給率を上げる施策について	12ページ	14	片山 瞬次郎 議員	●図書館の利用状況について ●貸与型奨学金制度について ●日本遺産サミットin小松から	12ページ
15	円地 仁志 議員	●安宅海岸浸食対策について	13ページ	16	宮西 健吉 議員	●子育て教育におけるこども園、保育所の現況と課題について ●本市公設のふれあい健康広場・西俣キャンプ場について	13ページ



竹田 良平(ただりょうへい)議員

一括質問

## 不登校の児童生徒へのサポートについて等

**Q** 昨年度、全国で不登校の児童生徒数が全児童生徒数に占める割合は、小学校で約1%・中学校で約4%と過去最多になった。本市の現状については。

**A** ここ数年、全国的に不登校児童生徒数は、小、中学校ともに増加傾向にあり、本市も同様である。

**Q** 板津、松陽、国府中の3校でステップルームを設け学校生活になじめない生徒をサポートしている。3校下以外の生徒への対応および本市のサポート体制は。

**A** 不登校児童生徒を勇気づけ、方向性を持たせられるのは、その子の状況や心の中を理解している自校の先生だと思う。一人一人に寄り添い自立を図りたい。また、スクールカウンセラー等の専門的観点から適切で幅広い対応ができるサポート体制を重視したい。

### ◆医療的ケア児やそのご家族への支援

**Q** 新型コロナウイルス感染症対応など看護師は人手不足にある中で、本人の進学予定校などニーズに合わ

せた看護師の確保の見通しは。また、今後県との連携については。

**A** 令和4年度の新学期から医療的ケア児の受入れに向けて事前に看護師を雇用するため、要する経費を計上した。県立の特別支援学校に勤務する看護師などを対象とした研修会に参加するなど、連携を図りたい。

### ◆スマートロックの導入

**Q** スマートロックとは、鍵穴に暗証番号が打ち込める機器をとりつけ発行された暗証番号を打つと解錠される仕組み。予約から鍵番号の発行までLINE上で完結できるサービスもある。鍵当番の負担軽減として、体育館等への導入は。

**A** 学校体育施設等は、地域主体で管理や利用調整が行われている。管理者と利用者のコミュニケーションの低下による備品等の片づけや清掃、ルールの遵守の点で配慮が必要になる。今後、利用が適する施設を選定し、実証実験、費用や運用面等、導入効果を検証し、他施設での利用を検討したい。



岡山 晃宏(おかやまあきひろ)議員

一括質問

## 日本遺産サミット・GEMBAモノヅクリエキスポを終えて

**Q** 日本遺産など観光資源がある地域の方は地域の活性化に大変尽力をしている。大きな整備には限界があり、地域と市が今まで以上に連携し、観光客に来てもらえるような整備が必要と考えるが。

**A** 安宅地区では常夜灯等、鶴遊立地区では銅山跡の公園整備等を地元と共に行ってきた。地域をリードする人材育成に取り組み、地域と共に日本遺産の魅力づくりや活性化に取り組んでいきたい。

**Q** GEMBAプロジェクトに参加した工場・工房で学生向けの見学などに助成をして、修学旅行の誘致を行うてはどうか。

**A** 市内宿泊施設利用で1人1泊500円、買い物補助券1,000円分または市内観光パスポートを発行している。課題を洗い出し、産業観光を市の代表的観光コンテンツとして発展させたい。産業観光と教育活動は深い関わりを持つており近代日本を支えてきた産業遺産等を通じて学習することは非常に効果が期待される。

### ◆WITHコロナでの安心安全な活動に向けて

**Q** 国が配信したワクチン接種を証明する電子証明書アプリの本市の導入と活用に向けた取り組み、スマホを持っていない方への対応は。

**A** 電子化後も引き続き窓口申請で紙の接種証明書も利用可能。  
**Q** 接種の有無にかかわらず、安心・安全に食事やイベントを楽しむため、検査キットに助成してはどうか。また、市主催のイベントでの検査キットの活用は。

**A** 検査キットは各地で国の実証実験が行われているところである。市主催のイベント等では感染状況に応じワクチン・検査パッケージ制度など必要な対策を講じたい。

### ◆近年の物価高騰の対策について

**Q** ガソリンや灯油の高騰は家計に大きな負担となっている。生活困窮者へこれらの購入費用に助成を行い、経済的負担を軽減する必要があると思うが。

**A** 住民税非課税世帯あるいは均等割のみの世帯のうち、75歳以上の高齢者、重度障がい者、独り親世帯、生活保護世帯の方を対象に1世帯当たり5,000円の現金給付を予定。



東 浩一(ひがしこういち)議員

一括質問

## 松東地区 地域活性化・農林業の 継続と持続的取組

**Q** 尾小屋鉱山メインロードの復旧について。

**A** 令和3年5月に、坑道内の木材が腐食落下し、閉鎖していたが、11月1日より坑道の一部を公開中。現在、全面公開に向け施設維持や運営方針を検討している。

**Q** 松東地区旧3小学校跡地活用について。

**A** 旧西尾小学校は、検証委員会の検証を踏まえ、市民にとって最善な判断をしたい。

旧波佐谷小学校は、令和3年10月、地元町内会から地域の活性化の施設利用の要望書が提出。校舎を活用できるよう維持管理をしている。

旧金野小学校は、令和3年1月と5月に要望書が提出された。同年7月には識者と跡地活用の検討を行い、次世代産業や産学共同研究開発拠点サテライトオフィス等地域交流拠点等が提案されている。提案内容に沿った企業等からのアプローチもあり、令和3年8月にも、同様の要望書が提出されている。旧金野小学校の跡地活用については、令和3年度に指定管理者の公募開始の予定であったが、現時点で指定管理者の応募が見

込めない状況にあると捉えている。

**Q** 農業の現状と農業政策について。

**A** 11月に販売農家を対象とした農業振興に関するアンケートを実施した。大規模農家だけでなく小規模や中山間地域の農家にも今回のアンケート結果に基づき市独自の支援制度を検討する。

関係機関と連携し、次世代を担う農業者育成、体質強化等取組を推進し、持続可能な農業を実現する。

**Q** 林業支援と環境護と税の活用について。

**A** 令和4年度から、市内小学生を対象とした森林環境教育等を県やかが森林組合等と、実施していく。未来へ森林を守り育てるため、森林整備、境界確定や同意取得の促進、広葉樹を製品化すること等、森林環境護と税の活用を進める。

**Q** EV充電施設の設置について。

**A** 令和4年度以降、優先度の高い施設のEV車充電設備の配置を検討する。官民一体での充電設備の整備計画の策定など、普及拡大に向けた取組を進めていく。



吉田 寛治(よしだかんじ)議員

一括質問

## 今後のこまじの 新しいまちづくりについて

**◆** 小松市のまちづくりの核となる未来型図書館の建設について

**Q** 市長は4、5年でオープンするという考えを伺ったが具体的な計画をお示しいただきたい。

**A** 令和4年度には、本年度の調査研究を踏まえ、未来型図書館の基本方針や役割、機能やサービース、立地場所等の方向性やイメージなどを示す基本構想の策定を予定している。

**◆** 給食費の無償化について

**Q** 「子育てするなら小松」をスローガンに給食費の無償化をさらに段階的に広げてほしい。

**A** 投資をすることで好循環が生まれる、非常に重要な政策であるが、新年度の予算編成で、どの程度実施できるかは、事務事業の見直しにおいて、財源確保状況や重要政策の中で検討していく。

**◆** 旧西尾小学校の活用事業について

**Q** 不透明な部分があるとの報道があったが明らかにすべき。前市長副市長が聞き取りに応じな

ったと聞くが、市長のお考えをお聞きしたい。

**A** 検証委員会は、市の内部調査よりも専門的知見で検証しており、現時点で市としてこれ以上の検証をすることは考えられないというふうになっている。

**◆** 環境整備について

**Q** 美しいまちづくりのため、ポイ捨て禁止の看板設置など対策を講じる必要があるのではないか。

**A** 多くの市民や事業所が協働で行っているボランティア活動を広げ、不法投棄やポイ捨てができないような美しい環境をつくり上げていきたいと考えている。

**◆** 金野小学校の跡地利用について

**Q** どのような計画が考えられているのか。住民に跡地利用について思いを聞く会を持つ予定はあるのか。

**A** 地元が望む施設活用が見込めない場合には、地元と協議し、意見を踏まえながら施設の在り方について検討を進めていきたい。